

けいはんな介護講座 行動援護従業者養成研修（令和5年11月3日開講富雄教室クラス）						
区分	日時	科目	目的	内容	時間数	
講義 10時間	11月3日(金)	9:00～ 9:30	開講式	正しく学習するために 受講の流れを理解する		0.5
		9:30～15:00 (休憩時間30分 を含む)	強度行動障害に 関する制度及び 支援技術の基礎 的な知識に関する 講義	強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。	強度行動障害と制度	5
					構造化	
					支援の基本的な 枠組みと記録	
					虐待防止と身体拘束	
	15:00～ 18:00	強度行動障害の ある者へのチーム 支援	チーム支援についての 理解を深める。	強度行動障害支援 の原則	3	
	11月4日(土)	9:00～ 10:30	強度行動障害が ある者の基本理解 に関する講義	強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ	強度行動障害とは	1.5
					強度行動障害と医療	
		10:30～ 11:00	強度行動障害と 生活の組み立て	生活の様々な場面での 支援について学ぶ	行動障害のある人の 生活と支援の実際	0.5
		11:00～12:00	基本的な情報収集 と記録等の共有	強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。	情報収集とチーム プレイの基本	1
固有の コミュニケーション					3	
行動障害の背景に あるもの					1.5	
11月5日(日)	9:00～ 12:00	障害特性の理解と アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ 	障害特性の アセスメント	3	
				構造化の 考え方と方法	3	
				記録の収集と分析	1.5	
	17:00～18:00	危機対応と 虐待防止	危機対応と虐待防止について 理解を深める	危機対応と虐待防止	1	
	18:00～	閉講式	研修を振り返り、 学習内容を再確認する	研修のまとめ・修了証 書授与	0.5	
						25
演習 14時間						